

【教育目標（目指す児童像）】

・かしこい子 ・やさしい子 ・たくましい子

【目指す学校像】

学びと笑顔、元気あふれる学校



【3つのキーワード】

重なるの協調 柔軟な捉え方

愉快地に楽しく

長く

校長 渡部 順一

皆さんには、身近な持ち物で何か長く使っているものはありますか。

私は少しですが、いくつかあります。6月の全校朝会で、その中の一つの物を紹介しました。それは、筆箱（ペンケース）です。長年愛用していて、かれこれ30年以上になります。

その場で、2年生以上子供たちに、質問してみました。1年生の時から、同じ筆箱を使っているかどうかを。

2年生から4年生くらいまでは、「同じものです。」との挙手の数が予想以上でした。多くの子供たちが、大切に使っていることが分かりました。5年生になるとガクンと減って5人ぐらいで、少しずつ傷んでくるのでしょう。6年生では1人で、大切に使っているのですね。驚きました。

長く使えばいいというものではないかもしれませんが、物を大切に使う、最後まで使い切るという

ことは、なかなかできないことです。例えば、鉛筆を手のひらに収まるくらい短くなるまで使うとか、消しゴムなら指先でつまんで持つくらいまで使うとかでしょうか。

一学期も6月に入り、折り返し点を迎えました。筆箱の中身だけでなく、新品の学習用具を含め、子供たちは様々な学習用具に、使い慣れてきたと思います。ここで、少し時間をとって用具の点検・準備をし、適切な状態で授業に取り組めるようになると、一層学習が充実していきます。ぜひ、ご協力ください。

付け足して、落とし物の数も少なくありません。記名されていると、落とし主に戻せることが多くなります。本当にもったいないので、こちらもご協力ください。



学校全体の「落とし物用かご」です。各学級にも、「落とし物ボックス」があるかもしれません。ご確認ください。



【再生したサツマイモの苗】

1年生がサツマイモの苗を植えました。その多くの苗の「葉」が、いつの間にかなくなっていました。理由が分からず、落胆しながら様子を見ることしかできませんでした。

そうこうしているうちに、数日後、どの苗からも「葉」が再生していました。強靱な生命力を目の当たりにしました。

きっと、根がしっかりと土の中で根付いて、栄養を確実に送り、成長を促していたのでしょう。

この好機受け止め、大切に粘り強く育てていきます。